

1. 科目名 (単位数)	多文化コミュニケーション (2単位)	3. 科目番号	GELA1336
2. 授業担当教員	野口 生也		
4. 授業形態	講義、ペアワーク、グループディスカッション、グループ発表	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「多文化理解入門」を受講していることが望ましい。		
7. 講義概要	グローバル化が進むにつれ、異なる母語・習慣・価値観をもった人たち同士の多文化コミュニケーションは日常的になりつつある。本講義は、自分の視野をこのような多文化「共生社会」にむけて広げ、必要とされるコミュニケーション能力を修得することを目的とする。具体的には、多文化コミュニケーションを構成する「言語」「コミュニケーション」「文化」の3つの基本的概念を理解し、多文化コミュニケーションのしくみを理解する。次に、様々なコミュニケーション活動や教科書のエクササイズを行い、多文化コミュニケーションのスキルを理解し養っていく。最後にグローバル時代における多文化コミュニケーションの役割と多文化共生の在り方について自分なりの意見を発信する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 多文化コミュニケーションを構成する基本概念とそのしくみについて理解する。 2. 多文化コミュニケーションのスキルを理解し身につける。 3. グローバル時代の多文化コミュニケーションの役割と多文化共生の在り方について自分の意見を発信できる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習課題の事前学習と事後学習を行うこと。 2. 授業内課題は授業の終わりに提出すること。 3. グループ発表で自分が担当する箇所のpptファイルを第13回授業日までに提出すること (発表とともに評定の方法「2 試験」として評価)。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】八代京子その他著『異文化コミュニケーション・ワークブック』三修社、2001年。</p> <p>【参考書】授業時に指示する。</p> <p>【教材】随時、資料を配布する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多文化コミュニケーションを構成する基本概念とそのしくみについて理解できたか。 2. 多文化コミュニケーションのスキルを理解し身につけることができたか。 3. グローバル時代の多文化コミュニケーションの役割と多文化共生の在り方について自分の意見を発信できたか。 <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業への参加態度 総合点の 30% 2 試験 (小テスト・期末テスト・口頭発表試験 等) 総合点の 30% 3 提出課題 (レポート等) 総合点の 40% 		
12. 受講生へのメッセージ	分からないことや共有したいことがあれば、積極的に発言しましょう。ペアやグループでの活動では、お互いを尊重し、協力しましょう。		
13. オフィスアワー	授業内で周知する。		

14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	シラバスの説明 第1章：異文化コミュニケーションとは ①新しい常識発見、②ステレオタイプ	事前学習	教科書 pp.1-16 を読み、「セルフチェック」「ステップアップ・エクササイズ」を行う。
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。
第2回	第1章：異文化コミュニケーションとは ③異文化理解への態度	事前学習	教科書 pp.17-21 を読み、「セルフチェック」「ステップアップ・エクササイズ」を行う。
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。
第3回	第1章：異文化コミュニケーションとは ④文化とコミュニケーション	事前学習	教科書 pp.22-36 を読み、「セルフチェック」「ステップアップ・エクササイズ」を行う。
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。
第4回	第2章：コミュニケーション・スタイル ①コンテキスト、 ②双方向コミュニケーション (ターンテキング)	事前学習	教科書 pp.37-45 を読み、「セルフチェック」「ステップアップ・エクササイズ」を行う。
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。
第5回	第2章：コミュニケーション・スタイル ③自己開示、④パラ言語	事前学習	教科書 pp.46-58 を読み、「セルフチェック」「ステップアップ・エクササイズ」を行う。
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。
第6回	第3章：言語コミュニケーション ①ほめ方、②叱り方、③謝り方	事前学習	教科書 pp.59-72 を読み、「セルフチェック」「ステップアップ・エクササイズ」を行う。
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。

第7回	第3章：言語コミュニケーション ④自己紹介、⑤誘い方と断り方	事前学習	教科書 pp.73-78 を読み、「セルフチェック」 「ステップアップ・エクササイズ」を行う。
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。
第8回	第4章：非言語コミュニケーション ①表情、②アイコンタクト、③しぐさとジェスチャー	事前学習	教科書 pp.79-90 を読み、「セルフチェック」 「ステップアップ・エクササイズ」を行う。
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。
第9回	第4章：非言語コミュニケーション ④タッチング、⑤空間と対人距離、⑥時間の感覚	事前学習	教科書 pp.91-100 を読み、「セルフチェック」 「ステップアップ・エクササイズ」を行う。
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。
第10回	第5章：価値観 ①ことわざ、②異文化ケース・スタディー、 ③基本価値志向 ※発表グループ分け	事前学習	教科書 pp.101-114 を読み、「セルフチェック」 「ステップアップ・エクササイズ」を行う。
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。グループで発表内容と担当を話し合う。
第11回	第6章：自分を知る ①対立管理スタイル、②異文化適応チェック、 ③共感（エンパシー）	事前学習	教科書 pp.115-134 を読み、「セルフチェック」 「ステップアップ・エクササイズ」を行う。
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。自分の発表箇所を準備する。
第12回	第7章：異文化コミュニケーション・スキル ①D.I.E.メソッド、 ②アサーティブ・コミュニケーション、 ③相手の話を聞く（エポケー）	事前学習	教科書 pp.135-157 を読み、「セルフチェック」 「ステップアップ・エクササイズ」を行う。
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。自分の発表箇所を準備する。
第13回	第7章：異文化コミュニケーション・スキル ④相手を責めない（アイ・ステートメント「わたし文」）、 ⑤アサーション・総合エクササイズ、[付]の説明 ※発表 ppt ファイル提出	事前学習	教科書 pp.158-179 を読み、「セルフチェック」 「ステップアップ・エクササイズ」を行う。
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。グループで発表のリハーサルをする。
第14回	グループ発表と質疑応答（1）	事前学習	グループで打ち合わせと発表の最終リハーサルをする。
		事後学習	発表後の反省点や質疑応答の内容を整理する。
第15回	グループ発表と質疑応答（2） 発表に関するディスカッション 授業全体の総括および提出物確認	事前学習	グループで打ち合わせと発表の最終リハーサルをする。
		事後学習	発表後の反省点、質疑応答、ディスカッション、総括の内容を整理する。